

京都広報2014-082

2015年3月17日

50歳以上のベテランドライバーを対象とした 安全運転実技講習会(Superシニアドライバースクール)を開催しました。

【主催】日本自動車工業会、全日本交通安全協会、日本自動車連盟

【後援】京都府警察本部 【協力】京都府交通安全協会、京都ダイハツ販売

JAF京都支部(森川莫臣支部長)は、平成27年3月14日(土)に、日本自動車工業会、全日本交通安全協会とともに、「Superシニアドライバースクール」を(一財)京都府交通安全協会自動車練習場(京都市)にて開催いたしました。

本講習会は、長年の運転でついた癖や、ご自身の技量・判断力などを確認・把握いただくことで、今後の安全運転に役立てていただくことを目的としています。今回は、滋賀・京都・大阪・兵庫より19名の方に参加をいただきました。

初めに、車や自転車・人など他者の動きをビデオで視聴し、客観的に観察し評価することで、ご自身の運転を振り返り、個々の問題点を確認いただきました(いきいき運転座学講習)。次の視機能診断テスト(ドライバーズドック)では、運転に必要な情報を収集・認知する為に重要となる「視機能」について、「動体視力、距離感覚」などから各個人の「視機能」の傾向を診断します。マイカーを使った実技講習では、正しい運転姿勢を確認した後、「見通しの悪い交差点の通過方法」、「スラローム走行」、「信号システムを使った反応ブレーキ」などを行いました。また、ASV(先進安全自動車)体験では、衝突被害軽減ブレーキの体感をしていただきました。スラロームや反応ブレーキ講習を終えた参加者からは、「普段の運転では出来ない、良い体験ができた。」「安全運転にも役立つ」などの感想が寄せられました。

JAF京都支部では、体験型講習会を通じて、一人でも多くのドライバーに正しい知識と運転技術を学んでいただきたいと思います。



パイロンスラローム



衝突被害軽減ブレーキ体験

※車両提供・協力：京都ダイハツ販売株式会社様

この速報に関するお問い合わせは、
京都支部事業課 電話 075-682-6000
担当 山崎へお願いします。